

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 学ぶ力と健やかな体の育成</p> <p>・全教科の「シラバス」を作成、配布し、各教科の学習目標・内容及び評価方法などを明確にし、生徒や保護者に意欲的に学習に取り組むよう、指導している。</p> <p>・先生方もとても熱心で、子どもたちも意欲的に授業に取り組んでいると思います。今後の学力向上に期待します。</p>	3
<p>2 多様性と包摂性のある教育の推進</p> <p>・集団適応が難しい生徒については個々に応じた対応を丁寧に実施することにより、不登校生徒の解消に成果を上げている。</p> <p>・不登校の生徒や様々な事情を持っている生徒にも寄り添い、とても柔軟に対応されていると感じます。</p> <p>・最近、外国にルーツを持つ生徒の増加や多様化については、行政の支援が必要である。</p>	3
<p>3 豊かな心の育成といじめ防止の取組</p> <p>・先生方も子供たちの様子をよく見てくださり、あまりいじめがあるようには感じないので、充分取り組まれているのだと思います。</p>	3
<p>4 教育環境の整備と教員の育成・勤務環境の整備</p> <p>・学習のデジタル化については、時代の進歩と共に授業等を効果的に進めるために必要であるが、授業の中でどれくらいの割合まで可能か考えること、授業の工夫も必要ではないのか。</p>	3
<p>5 家庭地域社会一体となった教育の充実</p> <p>・学校の取り組みを「学校だより」等で発信するなど、地域への連携、啓発に努めている。</p> <p>・地域との信頼関係の基準となるのは、地域で生活する生徒の様子を見て学校を評価する機会が多いので、生徒指導の充実を図ることも重要である。</p>	3
<p>■教育目標 自律・尊重・創造</p> <p>・学校教育目標を周知するのは朝礼や道徳の時間を通して徹底し、地域や保護者への発信も必要である。</p> <p>・生徒に対してはがっこうぎょうじをとおして実際に体験させることが大事である。</p> <p>・子どもたちはいつも明るく元気に挨拶してくれ、楽しそうに学校生活を送られていると感じます。学校行事も以前に比べ、子どもたちが自主的に取り組まれていると思います。</p>	3
<p>■研究テーマ 日新スタイル(自ら考え、判断し、行動する生徒の育成のための取り組み)の確立</p> <p>・特に意見なし</p>	3
<p>■</p>	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	<p>評価Ⅳ</p>
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B